

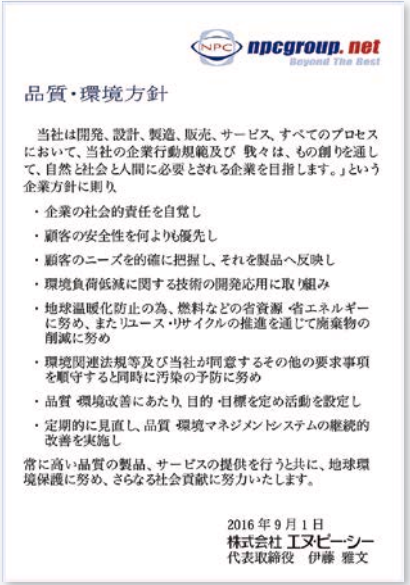
CSR報告

環境に向けて

当社は、太陽電池に関連する事業を通じて地球環境に貢献することが
当社グループの存在意義のひとつであると考えております。
一方で、そうした事業活動においても、省資源・省エネルギーに努め、
環境負荷を低減する活動を積極的に推進することで、環境にやさしい企業活動を行っております。

環境マネジメントシステム(ISO14001)

地球環境の保護に貢献するため、2005年にISO14001を取得しました。適用範囲である松山工場では、定期的に業務や作業を見直し、環境負荷を低減するやり方に変更するなどの改善に取り組んでおります。
また、日々の経営において同時に取り扱う視点が必要であるとの考え方から、2016年9月に品質マネジメントシステム(ISO9001)と統合し、その運用を開始しております。



松山工場での太陽光発電

松山工場事務棟の屋上には、国内太陽電池メーカー 9社の太陽光パネルを各10kWずつ設置しております。また、C棟の屋上では約300kWの太陽光発電システムが稼働しており、両方で年間約120トンのCO₂を削減できる計算となります。これらの太陽光発電システムは、事業活動における省資源・省エネルギーに貢献するだけでなく、ソーラーウェルネス事業のパートナー企業様向けの太陽光発電の検査サービスの研修や、経年劣化に関するデータの取得等の検証作業にも活用しております。



2016年度(2015年6月～2016年5月)の活動レビュー

2016年度環境目標達成項目		対象	達成状況
社用車の燃費向上	ガソリン:12.5km/ℓ	松山工場	○
	軽油6.0km/ℓ		○
OA用紙廃棄枚数の削減		本部統括	○
		設計部	○
現地手直しにかかる燃料費の削減		電気設計部	○
追加部品の発生防止		技術管理部	○
CD廃棄枚数の削減		技術管理部	△(※)
歩留向上による廃棄部材の削減		受託加工部	○
装置部品破損案件の削減		装置製造部	○
太陽光パネルリサイクル技術の確立		開発部	○
太陽光発電所のメンテナンス 機器販売48件、検査請負48件		環境営業部	○

※枚数ベースで目標を達成しましたが、割合ベースでは目標値を下回りました。

■是正処置及び予防措置の状況

貯水槽からの異臭による不適合報告書の提出がありましたが、水質等に問題はなく槽の汚れに起因するものであり、部品交換、清掃及び関連マニュアルの作成により是正処置及び予防措置を講じております。

■各種監査の結果

内部監査及び外部監査の結果、不適合に繋がるような指摘事項はなく、当社のマネジメントシステムは適切かつ有効に機能していると判断・評価されました。

次世代エネルギーパークへの登録

松山工場は、国から「次世代エネルギーパーク」に指定されております。次世代エネルギーパークとは、クリーンエネルギー施設を実際に見学・体感することで、若者からお年寄りまで幅広く国民に日本のエネルギー問題への理解を深めてもらい、ひいてはクリーンエネルギーの促進へつなげることを目的として、経済産業省が認定した施設です。
当社では2014年から毎夏、地元の小学生を対象に「太陽電池教室」を開催し、また、地方自治体や各種団体の見学を適宜受け入れるなど、太陽電池の啓蒙活動に努めております。

お客様に向けて

当社は世界各国のお客様とのお取引に際し、お客様の声に常に耳を傾け、製品開発やサービスの改善に努めております。

お取引先に向けて

お取引先と良好な関係を築くべく努力するとともに、関連法規・社会規範を順守しつつ、公平・公正な取引先の評価・選定を行っています。

新事業の展開

当社は変革する市場に柔軟に対応するため、様々な新しい事業を展開しております。

■太陽光パネルのリユース・リサイクル

太陽光パネルの設置が急ピッチで進む日本では、製品寿命を迎えて排出される太陽光パネルは、2040年には80万トンを超えると推定されており、これに品質不良パネルや破損パネルを合わせると、その排出重量は膨大な数値になると予測されます。その一方、パネルの有効なリサイクル方法はまだ確立されていないため、部材として用いている銀や銅などの有価物は回収されないまま、産業廃棄物として粉砕処理されているのが現状です。当社は資源の有効利用と環境負荷低減のため、2014年からパネルのリサイクル技術開発を継続して進めております。2016年8月に設立した合併会社、PVテクノサイクル株式会社を通じて、効率的かつコストを抑えたパネルのリユース・リサイクルスキームの早期確立を目指しております。

■他社との協業

2013年から提供を開始した当社独自の高精度な太陽光パネルの検査装置は、その精度と使いやすさで業界で高い評価を獲得しております。当社はこの検査技術を他社との協業に活かして、新たなスキームを展開してまいります。

展示会への参加

2016年3月と9月に東京と大阪でそれぞれPV EXPOに出展しました。大阪の展示会では、太陽光パネルの検査装置・検査サービスに加え、研究開発を進めている太陽光パネルの解体装置の実演を行い、大きな注目を浴びました。この装置はガラスとセル・EVA層とをホットナイフを用いて分離するものですが、ガラスを割ることなく分離できるため、有価物を効果的に回収できるという利点があります。また、展示会初日にはセミナーも開催し、多くの来場者にお越しいただきました。今後も機能やサービスの拡充に努め、お客様に満足いただける製品・サービスを展開してまいります。



ソーラーウェルネス「パートナー会」の開催

2016年11月14日から15日にかけて、当社検査方法を推進する全国的なネットワーク「ソーラーウェルネス」に加盟いただいている全ての企業をお招きし、第1回パートナー会を開催しました。最新の不具合検出方法や不具合事例の検証、ソーラーウェルネス全体の運用面における改善点の討議などを行うとともに、懇親会も実施し、パートナー企業間の親睦を深めることができました。今後の継続的な実施により、強固なネットワークづくりに役立てるとともに、パートナー企業および当社双方にとって最適な形の運営を目指してまいります。



株主・投資家に向けて

企画情報部を中心に、株主・投資家の皆様に対する迅速、正確かつ公平な
情報開示とコミュニケーションの拡充に努めております。

社員に向けて

当社は、社員こそが会社の企業価値を高める最も大切な財産であるとの考えから、
社員一人ひとりを尊重し、働きがいを持てる職場づくりに取り組んでおります。

地域社会に向けて

当社は、地域に根ざした企業として、
地域の皆様から必要とされる企業を目指しております。
そのため、地域社会へ向けた様々な活動を実施しております。

エコキッズスクールの開催

2016年8月、松山市の主催により、小学4年生から6年生を対象に「サマー！エコキッズスクール」を松山工場で開催しました。約2時間のスクールでは、太陽電池の仕組みや特徴等を学んだ後、当社事務棟屋上に設置した太陽光発電システムを見学いただきました。また、体験学習の時間にはソーラーカーを製作いただき、完成したソーラーカーを使って工場敷地内でレースを行いました。好天の下、自分で作ったソーラーカーでトップを取る



うと歓声を上げる子どもたちの姿に、保護者の方々も目を細めておられました。
最後は当社フットサル場にてスイカ割りに挑戦いただき、夏の味覚も感じていただきました。当社は今後も地域の皆様に対し、クリーンエネルギーを身近に感じていただく場を提供してまいります。



マツヤマお城下リレーマラソンへの協賛

当社は2016年10月15、16日の2日間松山市で開催された「第3回マツヤマお城下リレーマラソン」に、「おもてなしスポンサー」として協賛しました。42.195kmをリレー形式で走破するこの大会は、前回を50チームほど上回る664チームが参加する盛況ぶりとなりました。当社からは、今期も社内サークル「チーム明日こそ…」から2チームが一般の部に参加し、無事完走しまし



た。うち1チームは3時間を切る好タイムでゴールし、日頃の練習の成果を発揮しました。
当社は今後もサークル活動を通じた地域イベント等への参加と合わせて、スポンサーとして協賛することで、地域交流の場を盛り上げていきたいと考えております。



情報開示方針

当社は、情報開示の基準や方法、沈黙期間の設定や将来の見通し等を含んだ「情報開示方針」を定め、ホームページに掲載しております。

<http://www.npcgroup.net/ir/>

わかりやすい情報の提供

当社ホームページでは、財務ハイライトや決算に関する各種資料、株式基本情報等を掲載し、当社の情報が手軽に入手できるように努めております。また、海外の投資家の皆様にも当社の情報を公平に発信するため、開示資料、本CSRレポート、その他重要と思われる刊行物について積極的に英訳し、英語版ホームページに掲載しております。さらに、IR専用のお問い合わせフォームも設置し、ご意見やご質問等を適宜受け付けております。なお、ホームページにアクセスできない投資家様に対しては、ご要望に応じて開示済の各種資料を郵送でお届けしております。

個人投資家向け会社説明会

2016年度は、毎年訪問している愛媛県、東京都に加え、山口県、埼玉県、大阪府でも個人投資家向け会社説明会を開催し、多くの投資家の方にご参加いただきました。
今後も、これまで訪れていない地域を訪問し、より多くの個人投資家の皆様に当社についてご理解いただけるよう努めてまいります。



職場環境の整備

当社は産前産後休業・育児休業制度を完備しております。2016年度は7名の女性社員がこの制度を活用しました。また、職場復帰後は、就業時間短縮制度を活用して仕事と子育ての両立を図っております。

サークル活動

当社は、社員間のコミュニケーション促進と、地域社会活動への参加を目的として、社内サークル活動を支援しております。2016年度はフットサルや自転車等のスポーツからバイクツーリングまで計12サークルに133人が参加し、サークルを掛け持ちするサブメンバーも39人に増えました。
社外活動によるリフレッシュの場となるだけでなく、部署や年齢等の枠を超え、業務では直接つながらない社員間のコミュニケーションを図る機会ともなっております。また、自治体主催のイベント等への積極的な参加も引き続き見られました。当社は、今後もサークル活動を積極的に支援してまいります。

社員の声

海、山に囲まれた愛媛県は「サイクリングパラダイス愛媛」と呼ばれるほど、景観が素晴らしく、走っていてとても気持ちの良いところです。私たちのサークル「チャリンダー」は、そんな愛媛県で「健康維持を含めサイクリングを楽しむ」をモットーに、体力に合わせて目的地を決めて走っています。昨年にはサークル活動の一環として、障がい者と自転車で走る「タンデム自転車NONちゃん倶楽部」の活動に参加しており、今年も、同倶楽部が主催する松山競輪場でのイベント「サイクルチャレンジ」に参加しました。タンデム自転車は二人乗りの自転車です。当日は視覚障がい者の方が後ろに乗り、私たちパイロットは路面情報・走行情報を声掛け共有(サポート)して、交代でバンクを走りましたが、会話が盛り上がるあまり、気付けば交代するのも忘れて3、4周バンクを回っていました。前後ふたりで会話もしながら走れるタンデム自転車は、息が合えばグングン前に進み、とても爽快で楽しいです。また、普段は立ち入る事が出来ない競輪場のバンクでは、そのあまりの傾斜角に驚いたり、プロの競輪選手によるデモ走行を間近に見るなど、貴重な経験もしました。
今後もサイクリングを通じて地域活動・イベントで様々な体験を楽しむ一方、自転車という乗り物の素晴らしさをもっと社会に広げていきたいと思っています。



自転車サークル チャリンダー
技術管理部 新井 勲